

ENCSPラットフォームのCIMCパスワード回復のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[CIMCパスワード回復手順](#)

はじめに

このドキュメントでは、CIMC機能を持つENCSP 54XXプラットフォームのCIMCクレデンシャルを回復する方法の手順を説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- このドキュメントは、CIMC機能を備えたENCSPデバイスに適用されます。
- このプロセスは、uCPE Catalyst 8300や、CIMC機能も備えたCSPモジュールなどの他のプラットフォームによって異なる場合があります。
- 影響を受けるデバイスの電源をリモートで管理するには、物理デバイスへのアクセスまたは可用性が必要です。
- CIMCパスワードの回復を実行するには、デバイスからCIMCコンソールに接続する必要があります。デバイスへのSSHまたはTelnet接続は、このプロセスには使用できません。



注：ターミナルサーバはコンソール接続に使用できます。ただし、直接コンソール接続が推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ハードウェア：ENCS5412/K9
- CIMCファームウェアバージョン：3.2(14.19)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

これらの手順を使用して、CIMCクレデンシャルをデフォルト値にリセットすることで、CIMCアクセスを回復できます。

このパスワード回復プロセスの主な目的は、不明なクレデンシャルをクリアするためにCIMC設定を持つEMMCパーティションを削除することです。



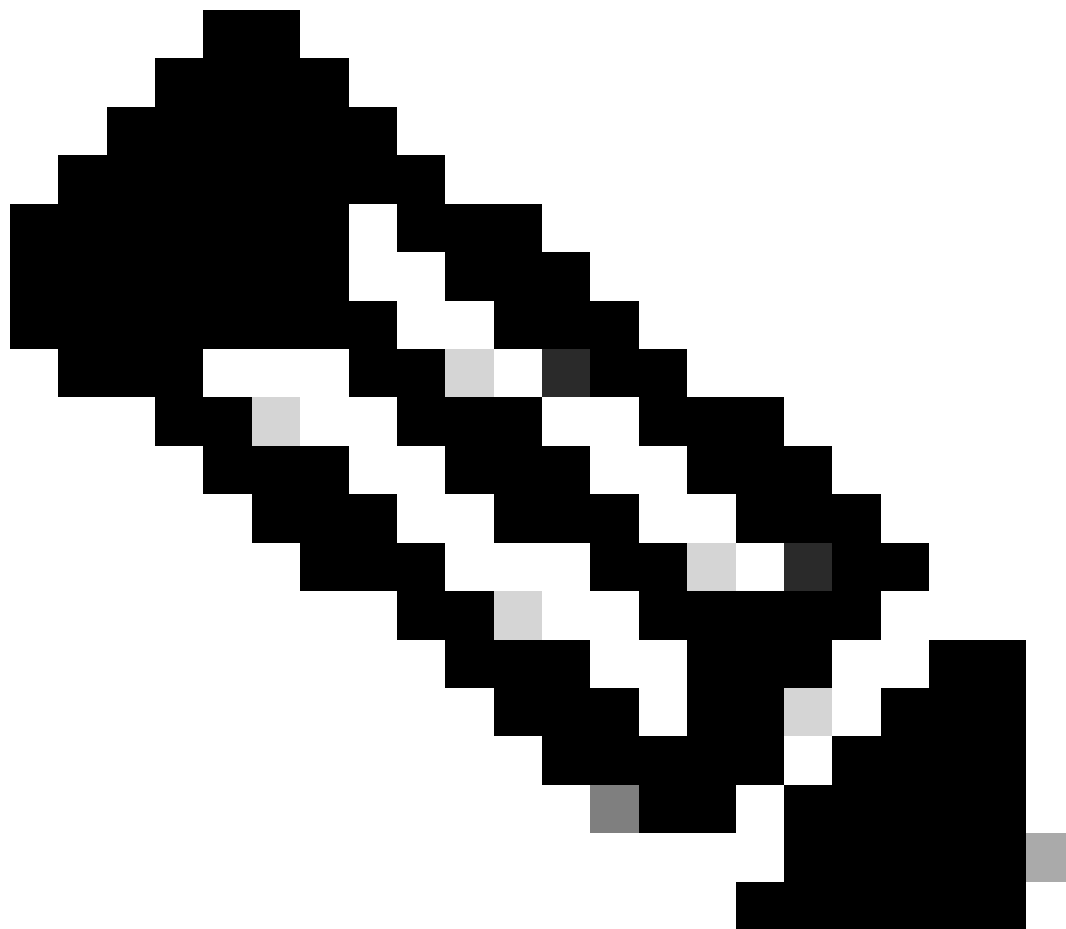
警告: EMMCパーティションをフォーマットすると、ベースボード管理コントローラ (BMC) 設定、ISOファイル、パスワードなどのEMMCカードの内容がクリアされます。パスワード回復手順を続行する前に、CIMCでホストされているVMのバックアップを作成します。

CIMCパスワード回復手順

ステップ 1: デバイスをリブートします。デバイスにアクセスできないため、電源からデバイスをリロードするか、電源からデバイスを切断する必要があります。

ステップ 2: デバイスのブート中に、自動ブートプロセスを停止するメッセージが表示されます

。***を入力して停止します。



注：このプロセスを開始する前に、キーボード上の(*)文字の位置を確認してください。
このステップの実行には10秒という制限があります。

<#root>

CHIMP v1.3

Copyright Cisco Systems, Inc. (c) 2011, 2012

Attempting cisco_chimp_boot with FLAT_MMU algo

Divisor: 0x00000008

Checking if we are already running from PLL

Already running from PLL

Image 1 validation in progress

Image 1 validation COMPLETE

U-Boot 1.1.4 (Jun 4 2024 - 16:03:59)

U-Boot code: 87F00000 -> 87F21AAC BSS: -> 87F26164

IRQ Stack: 87e9ff7c

FIQ Stack: 87e9ef7c

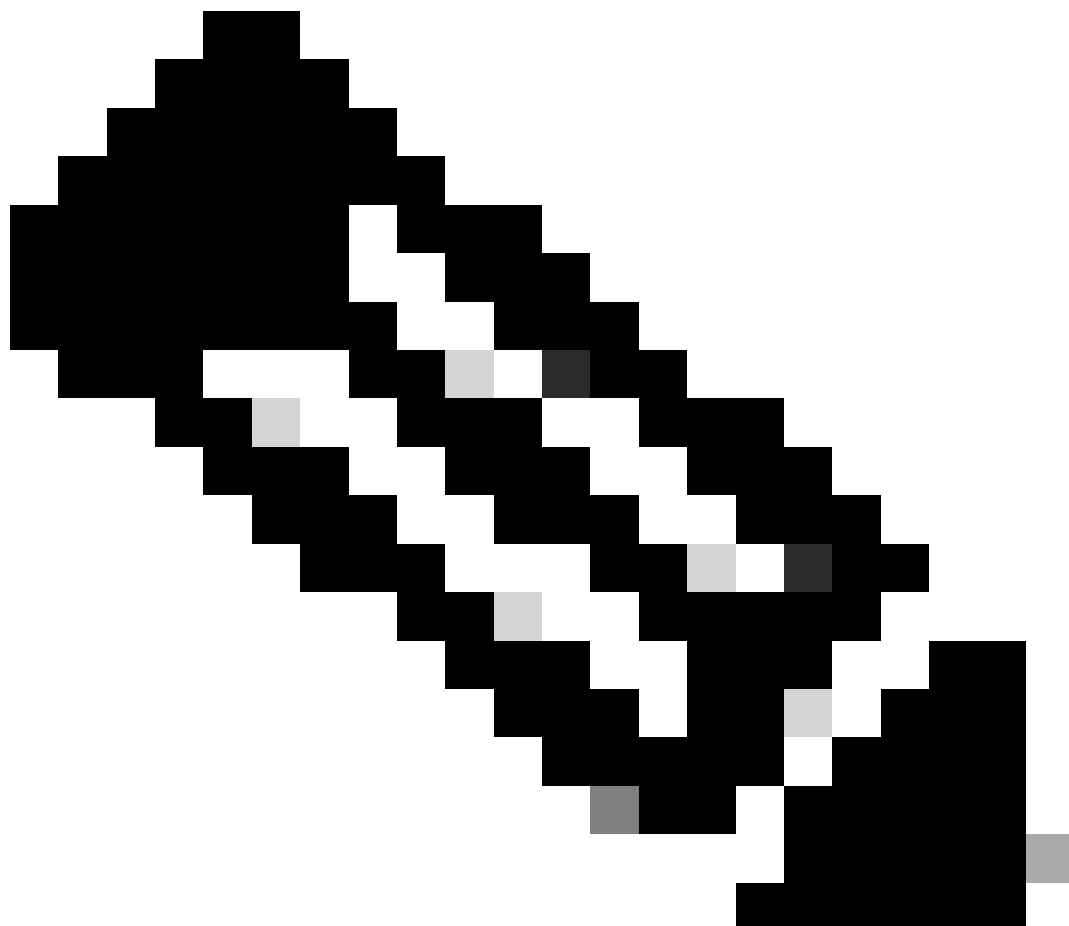
RAM Configuration:
Bank #0: 80800000 256 MB
Found SPI Chip Numonyx N28Q128
Flash: 16 MB
Using default environment

Net: Phy Id dd1 not matching dev_num is 0
Phy Id ffff not matching dev_num is 1
pilot_eth0, pilot_eth1
Enable port 80 capture.

Type *** to stop autoboot:

ステップ 3：自動ブートが回避されると、デバイスはucse-cimc端末にプロンプトを表示します。
boot current recoveryと入力して、起動すると回復モードになります。

ステップ 4：リカバリモードで起動すると、デバイスはリカバリモードに入るためのデフォルト
クレデンシャルを要求します。



注：CIMCのデフォルトクレデンシャルは、ユーザ名がadmin、パスワードがpasswordで

す。リカバリシェルのコマンドラインパーサーは非常にプリミティブで、矢印キー、バックスペース、またはほとんどの特殊文字を解析できません。正確なコマンドを入力してください。

<#root>

starting pid 1146, tty '': '/sbin/getty -L ttyS0 9600 vt100'

CISCO-IMC login:

admin

Password:

password

login[1146]: root login on 'ttyS0'
recovery-shell#

ステップ 5 : リカバリシェルプロンプトで、`emmc format p3`と入力して、CIMC設定があるEMMCカードのp3パーティションをフォーマットします。

<#root>

recovery-shell#

emmc format p3

Formatting partition 3
done

手順 6 : フォーマットプロセスが完了したら、`reboot`と入力して、CIMCを通常どおりに起動します。CIMCが起動したら、デフォルトクレデンシャルでログインし、新しいパスワードを作成する手順を続行します。

<#root>

recovery-shell#

reboot

Restarting system.

CHIMP v1.3
Copyright Cisco Systems, Inc. (c) 2011, 2012

Attempting cisco_chimp_boot with FLAT_MMU algo

Divisor: 0x00000008
Checking if we are already running from PLL
Already running from PLL
Image 1 validation in progress
Image 1 validation COMPLETE

<output omitted>

Successfully reset boot order to factory defaults
BMC-LAST-SCRIPT [SUCCESS]
OP:[on] OP-CCODE:[Success]
OP:[fp_lock] OP-CCODE:[Success]
ls: /mnt/datastore/*gold*: No such file or directory
starting pid 4670, tty '': '/sbin/getty -L ttyS0 9600 vt100'
ENCS5412-FGL223781BV login:

admin

Password:

password

*****WARNING!*****

Default credentials were used for login.
Administrator password needs to be
changed for security purposes.

Enter current password:

password

Please change the password...
Enter new password:

<

>

Re-enter new password:

<

>

Updating password...
Password updated successfully.

ENCS5412-FGL223781BV#

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。